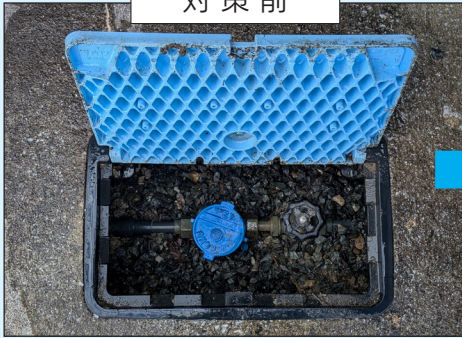




各家庭での水道管の凍結対策をお願いします

年末年始が近づき、本格的な冬支度の季節となりました。厳しい冬の寒さに向け、早めの凍結対策をお願いします。

対策前



対策後

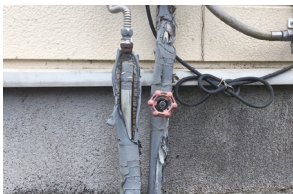


布や梱包材などを保温材に活用し、メーターボックス内の水道管が直接外気に触れないように保護してください。
検針用のメーターキャップは開閉できるようにしておいてください。



1 こんな水道管は注意！

- ◆屋外で風が直接あたる場所にある水道管
- ◆北側の日陰にある水道管
- ◆カバーが外れたむき出しの水道管や温水器の排水管
- ◆保温材が劣化した水道管



外気温がマイナス4℃以下になると、

水道管が凍結・破損

しやすくなります。

低温注意の予報が出た際は、**水道管の凍結対策**

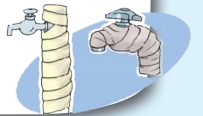
をお願いします。

【問合先】水道課 業務係

☎65・3241

2 家庭でできる凍結対策

- ◆保温材をまく
⇒水道管・蛇口を保温材（毛布などでも可）で包む。
※水道メーター付近は、検針に支障ない程度をお願いします。
- ◆少量の水を出し続ける
⇒蛇口から少しずつ出し続ける。出した水は貯めておき再利用を。



3 水道管が凍結したら…

水道管の凍った部分にタオルなどをかぶせ、ぬるま湯でゆっくり時間をかけて溶かします。※熱湯を直接かけると破損を起こすので危険です。



ぬるま湯を
ゆっくり掛ける。

4 漏水の確認方法



自宅のすべての蛇口を閉め、水道メーターの**パイロットマーク**が回っている場合、漏水している可能性があります。水道メーターは一般的に玄関付近の地面などに埋設されています。

5 水の貯め置きを

ペットボトルやふた付きポリ容器に水を貯め置き、備蓄飲料水として活用してください。また、お風呂の残り湯は、すぐに捨てずに貯めておくことで、断水時のトイレ用など生活用水として役立ちます。